

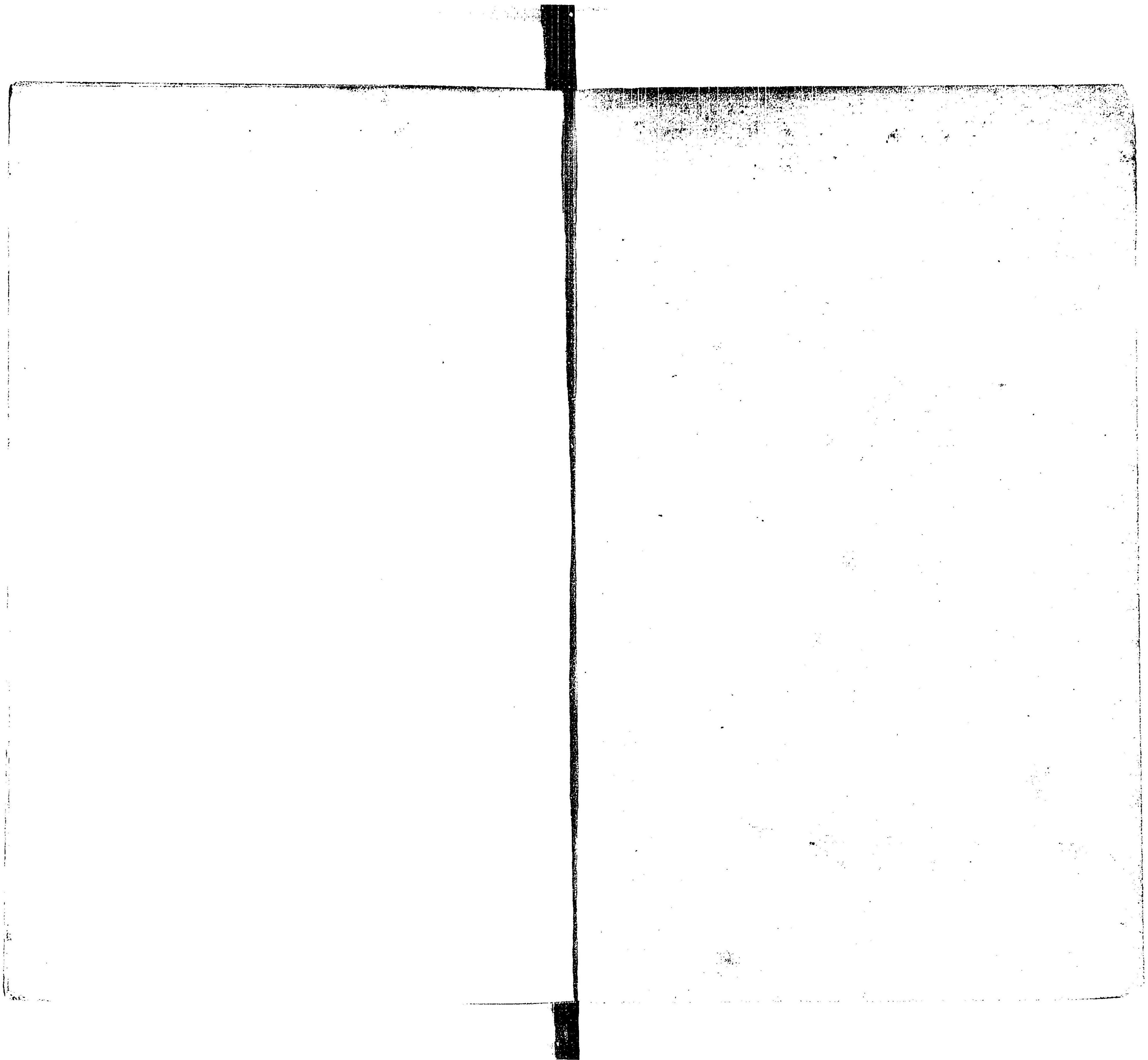
54  
83

明治廿四年靜岡縣志太益津郡内

尋常小學校卒業試驗問題集

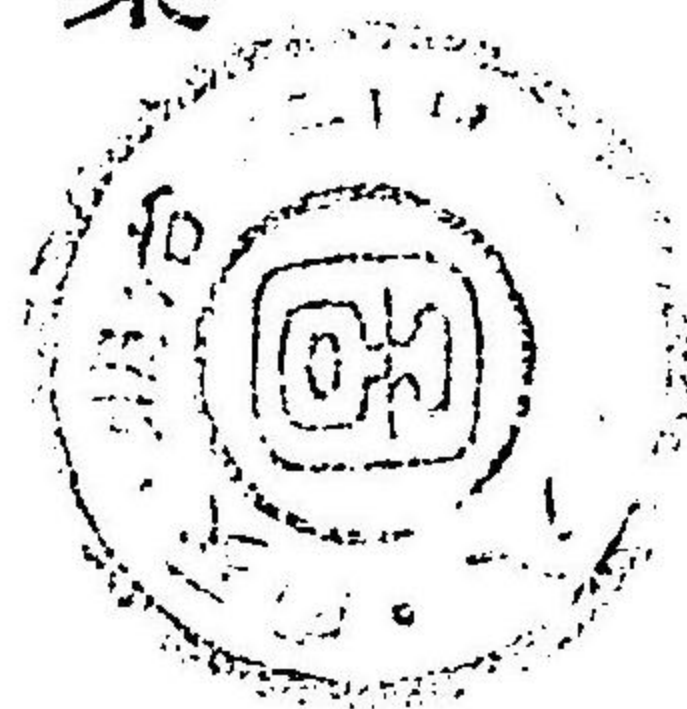
4

7





明治廿四年靜岡縣志太益津郡内尋常小學校卒業試驗問題集



藤枝尋常小學校

修身科

(1) 富貴ニシテ一業ヲナサズ貧賤ニシテ反テ大業ヲ遂グル  
人アリ何ニヨリテ相違アリヤ〔此答ヲ得テ次ノ問ヲ起ス〕

然ラバ富貴恃ムニ足ラズ貧賤憂フルニ足ラザルカ〔全上〕  
然ラハ貧賤ニシテ一業ヲナサントスル者ノ志如何〔全上〕  
(2) 如何ナル人が幸多ク禍少キヤ〔此答ヲ得テ次ノ問ヲ起ス〕

正直ナル行ヒノ人ハ父母兄弟ニ對シテノ行ヒ如何〔全上〕  
朋友其他ニ對シテハ如何〔全上〕  
父母兄弟朋友其他ニ對シテ不親切ナル行ヒノ人々ハ遂  
ニ如何



- (1) 正行京都へ進むの前死を決し弟正時等と共に先づ行宮に詣り臣此度の戦敵將の首を得れば非ずば必ず生きて歸らんと奏せしに 天皇御身近く正行を召され朕汝をもく頼みとす深く其身を愛せよと乃たまひしかば正行天恩に感じ涙を乃みて退出せり〔尋常小學讀本六第三十二課ノ内〕
- (2) 虎の其形よを猫に似て獅子より小さく其毛色も光澤あるうす樺色よて黒色の條紋あり外貌甚だうつくしき獸なりされど其狡猾ふして殘酷あるよとハ却て獅子にもまさると云ふ〔尋常小學讀本七第十七課ノ内〕
- (3) 書取  
屍の朽ちて骨となり及はをれて霜結ぶ

吾等も我國を愛し我が君に忠を盡すべし

作文科

- (1) 左ノ來翰アリ返事ヲ作ルベシ  
但藤枝町ノ商家ハ五百七十五戸工ハ三百七十三戸農二百七十戸無業者二百四戸ナリ  
益御清榮奉賀候陳者些か取調候義有之御地の戸數承知致度乍御手数數商工農無業之四ハ分ち御教示願上候早々願首
- (2) 椿ノ事ヲ記スベシ〔實物ヲ示ス〕
- 算術科  
〔(1)心算(2)筆算(3)筆算(4)珠算(5)珠算〕
- (1) 十二坪ノ宅地ト二十歩ノ田地ト交換セリ宅地ノ一坪四拾錢ナリ田地ノ一坪ハ何錢ニ當ルヤ



- (2) 藤枝尋常小學校ハ所有地二百十四坪ニシテ借用地ハ所有地ヨリ四百三十七坪多シ一坪三拾貳錢五厘ニ積リテ總代金幾何ニ當ルヤ
- (3) 過ル明治廿一年ノ藤枝町米ノ産額ハ壹石金四圓八拾五錢替ニシテ總金高壹万四千貳百七拾三圓五拾五錢ナリシ問何石ヲ産セシカ又問四斗貳升入俵トスレバ何俵ナリシヤ
- (4) 藤枝町ノ耕地ハ田百七十一町九反畑五十四町九反アリテ農家二百七十戸ナリ一戸ノ耕地平均何程ナルヤ
- (5) 藤枝町ノ重ナル産物ハ米ヲ除ケバ茶ナリ過ル明治二十一年ニハ三千貳百九拾八貫四百目ヲ産シ其價ハ壹貫目壹圓貳拾五錢ニ當レリ總金額幾何ナリシカ

- (6) 貳圓五拾錢五厘、拾壹圓貳拾七錢七厘、三圓八錢貳厘、九拾五錢六厘、七圓貳拾五錢、五圓拾錢、八拾八錢八厘ノ加、チ問フ〔口唱連筆〕

習字科

- (1) 御約束申上候舶來茶種此程到着候ニ付御配分致候〔草行交リ〕
- (2) 盡せやつくせ君乃爲め祝へやんはへ君ダ御代

〔草行交リ細字練習帖ニヨリ書セシム〕

圖畫科

- (1) 自在畫 手本ニツキテ植木鉢ヲ畫カシム
- (2) 工夫畫 曲直線各六條ノ結合

体操科



徒手体操第一演習十四節ヨリ二十節マデ〔亞鈴使用〕

徒手体操第二演習二十節ヨリ二十六節マデ

以上男生徒

徒手体操第一演習七節ヨリ十二節マデ

徒手体操第二演習一節ヨリ七節マデ

以上女生徒

唱歌科

學之道 仰ゲバ尊シ

### 廣幡尋常小學校

修身科

(1) 格言 勤儉ハ家ヲ保ツノ道ナリ

(2) 人臣タルノ道ハ如何 勉職ノ要ハ如何 儉吝ノ別ヲ語レ

讀書科

(1) 砂糖ハ種々の植物より製するふとを得れども我國にて  
ハ重に甘蔗より取るなり甘蔗は暖き地ニ適する故に我  
が國ニ中ふて甘蔗を培養す我國ニ薩摩沖繩肥前及南海  
道の國々ト伊勢尾張駿河乃數國トふ過ぎず

〔尋常小學讀本六第二十四課ノ内〕

(2) 吾等ガ最も便利トすれ瀛車瀛船郵便電信など多くハ  
皆維新の頃より出來しものに昔の人ハ夢にも知らざ  
る所なり吾等は此あり難き御代ニ生れらば我カ身を  
立て我が國に盡す事無々てあだに一生を送るが如き事



あつば誠に耻すべき事あり

(3) 書取

空氣の重に酸素と窒素と云へる二つの氣體より成れ吾等之を呼吸して生活を

作文科

(1) 遺失物届

(2) 新聞社に廣告文の登載を頼む文

算術科

(1) 廣幡尋常小學校生徒ノ授業料ハ一人一ヶ月ニ付一年期生ハ三錢二期生ハ四錢三期生ハ五錢四年期生ハ六錢ナリ依テ問フ四年期卒業迄ニ要スル一人ノ授業料額幾何

(2) 當村上當間某農夫ニ昨二十三年ノ手作地所反別ヲ問ヒ

シニ予が総收穫ハ四斗貳升俵八十二俵ト端米壹斗貳升ニテ一坪平均八合宛收メ得マリト答フ反別幾何

(3) 或農夫荒地地直シ資金ニ或米商人ヨリ年末米返シノ約定ヲ以テ金貳百五拾圓ヲ一ヶ年利子壹割貳分ニテ借リ入レタリ然ルニ返金ノ當時米一俵ノ相場金貳圓八拾錢ナリシト云フ然レハ此農夫が元利皆済ニ差向ケタル俵數幾何ナリシカ

(4) 金拾八圓九拾三錢、金九圓八拾錢五厘、金七圓五錢七厘、金拾圓六拾八錢、金六拾三圓五拾錢、金貳拾三圓拾壹錢三厘ノ計ヲ問フ〔口唱速算〕

習字科



尋常小學校卒業証受領致候間御安意下さるべき候

〔草行交リ〕

体探科

啞鈴体探第一演習十節ヨリ二十五節マデ

唱歌科

金剛石

### 岡部尋常小學校

修身科

(1) 父母過アレバ子如何シテ可ナルヤ

(2) 蓬麻中ニ生スレバ扶ケズシテ直シ此ノ格言ニ因テ話セ

ヨ

讀書科

(1) 此時ハ百濟乃國より始め漢字を持ち來りて未だ間もなきことなれば其教授の法も固より十分ならず誠小學び難かりし事なふん然るに皇太子は阿直岐王仁みご云へる學者を師として其文字を學び今此表を讀みて其無禮を咎むるまゝに上達せられし其勉強いのはりなりぞ思ひやるべし〔尋常小學校讀本六第十四課ノ内〕

(2) 家康七十五歳にして世を去り駿河の久能山に葬りしが後又日光山に改葬し朝廷より正一位を贈りて東照宮の神號を賜り徳川幕府の先祖として永く世に其功德を傳へたり日光の社の美麗壯大あるも他亦其比類を見ざるなり〔尋常小學校讀本七第十八課ノ内〕



- (3) 書取
- 潜み居る 注意 奇計 慰み 盤雪 群居る 呼吸
- すれ

作文科

- (1) 出産届
- (2) 茶摘女を頼む文

算術科

- (1) 筆六本ヲ買ヒ其價ヲ拂フニ當リ五拾錢札ヲ出シテ鈎錢八錢ナリト云フ一本ノ價如何〔心算〕
- (2) 或人二里ノ道ヲ毎日往返シテ其歩スル所千二百里ナリト云フ往返セシ日數如何
- (3) 徴兵二万七千六百八十人アリ之ヲ四十人宛ノ小隊ニ分チ

- (4) 一小隊毎ニ長官一人次官五人ヲ附スレバ總計人員幾何
- ニテ道程ノ半ニ達スト云フ至道程幾尺ナルヤ

習字科

子守女一人雇入度十五歳前後のもの願上候〔草行交リ〕

體操科

徒手体操第二演習一節ヨリ十節マデ  
 哑鈴体操第一演習一節ヨリ十六節マデ  
 歩行演習、行進間ノ右轉回、右轉回、

朝比奈尋常小學校

修身科



(1) 弟妹等ノ良全ナランイテ望ムニハ兄弟姉タルモノ如何ニ心ヲ盡スベキヤ

(2) 國家ノ利益ヲ計ルトハ如何ナル心意及行狀ヲナセルモノヲ云フヤ

讀書科

(1) 象は陸の動物中最も大なる獸にして性質溫和能く物を負ひ熱國に産す

海綿は海底に生ずる小動物にして顕微鏡にて見れば無数の小虫なり世用をみせるを乃て海綿虫を去りたるものあり〔新文活用ヲ試ム〕

(2) 我が政府を大に政事乃改革を行はれ大小の學校をおこして農工商乃別ちなを皆これに入りて種々の事を學び

得しむるに至りしうば人智大に進みたり其後外國の交際もますます開け行きて彼の國の學問工藝を取り之れを我國に應用したれば世も日々開化おちもむきて遂に今日に至りしり〔尋常小學讀本七第二十八課ノ内〕

(3) 書取

瀛車 瀛船 郵便 電信 なども多くは皆維新の頃よお出來しものにく昔れ人れ夢にも知らざる所あり

作文科

- (1) 我國地勢ノ一班
- (2) 出京を知らるる文

習字科

卒業試験優等にて御及第之由奉賀候〔草行交り〕



算術科

- (1) 七厘宛ノ卵子九個ト五厘ツ、ノ卵子八個ヲ買ヒ貳拾錢ニテ拂ヲシタリ釣錢何程
- (2) 二ヶ所ノ地面アリ一ハ十五間四方一地ハ縱二十七間横二十五間ナリ此合計地坪何程ナリヤ
- (3) 製茶人七人ヲ十三日間雇ヒテ賃金三拾壹圓八拾五錢ヲ拂ヒタリ一日一人ノ賃金何程ナリヤ
- (4) 或農夫田地二町三反九畝四歩ト畑六反七畝十三歩トナ所有セリコレヲ十七人ノ小作ニ耕サシムル時ハ一人ノ耕地何程ナリヤ

体操科

啞鈴体操一節ヨリ十五節マデ

葉梨尋常小學校

修身科

- (1) 我國ノ萬國ニ卓越セル所以如何  
子等ノ此國ニ對スル心得如何ニシテ可ナルヤ
- (2) 儉約ハ何ノ爲ナルヤ  
儉約ヲ爲スト否トハ如何ナル違ヲ生スルヤ  
儉約ニ付テノ格言一ヲ舉ゲヨ

讀書科

- (1) 志太郡葉梨村ハ舊十ヶ村ヨリ成リ郡ノ北方ニ位シ三面山ヲメグラシ一方藤枝町ニ出ヅル所平カナリ戸數七百七十六人口四千四百九十八ニシテ三拾万壹千四百拾九圓餘ノ地價ヲ有ス產物ハ米麥茶蜜柑蒔炭等ニシテ人民



温和生計ユタカナリ〔新文活用ヲ試ム〕

(2) 昔支那に車胤と云ふ人ありて幼き時より學問を好み、  
が家貧く、く燈をともしべき資力無りければ、夏は夜  
に、多くの螢を捕り來りて之を囊に入れ、其光を以て書物  
を讀み、と云へり〔尋常小學讀本七第四課ノ内〕

(3) 書取

吾國の氣候温和地味也、たうに多く米茶桑等を産し、誠に  
愛すべき國柄なり

作文科

(1) 衣服

(2) 桑苗注文の辭

算術科

(1) 五圓貳拾五錢、拾三圓六拾錢、七圓五拾三錢、拾貳圓四拾五  
錢、三圓五拾六錢、貳拾五圓拾五錢ノ計ヲ問フ〔口唱速算〕

(2) 三人ノ子ヲ學校へ出ス人其毎月ノ授業料長子ハ高等小  
學校ニテ金貳拾五錢次子ハ尋常小學校ニテ金五錢三子  
ニ同校ニテ金貳錢五厘ナリ然ル時ハ此人一ケ年ニ總計  
幾何ノ授業料ヲ出スベキヤ

(3) 葉梨尋常小學校ノ敷地ハ六百坪ナリ内ニ百八坪ノ學校  
ト間口二間奥行三間ノ厠アリテ其他ハ遊歩場ナリ問遊  
歩場ノ坪數幾何

(4) 蜜柑山ト茶畑トヲ持テル人蜜柑ヨリ五拾八圓六拾錢茶  
ヨリ貳百五拾八圓ノ益アリタリ内百五拾圓ヲ家計一切  
ノ費用トシ其餘金ヲ以テ田地四百七十六坪ヲ買ヒタリ



ト云フ依テ田地一坪ノ代價何程

習字科

以御蔭尋常小學校卒業〔草行交リ〕

体操科

矯正術四節、九節

啞鈴体操第二演習四節ヨリ十四節マデ 但十節ヲ省ク

### 稻葉尋常小學校

修身科

(1) 勤學ノ必要ナルコトニ就キテ

アナタハ讀書算術其他作文等ヲ爲シ得ルニ至リシハ何  
ノタメナルヤ〔此答ヲ得テ次ノ問ヲ起ス〕

勤學セザルニ於テハ只今ノ狀態ハ如何〔全上〕

其姿ヲ以テ壯年ニ至リナバ如何〔全上〕

然ラバアナタハ勤學ト云フコトニ就キ如何ニ感想スル  
ヤ〔全上〕

入學セシヨリ今日ニ至ルマデ學問上ノ資益ヲ認メシ事  
實ヲカマレ〔全上〕

勤學ノ必要ナルコトヲ能ク知量セシナラバ從來ヨリ學  
ビタルコトニテ充分ナリト思意スルカ〔全上〕

充分ナラザルニ於テハ向後ハ如何ニシテ宜シキゾ〔全上〕  
勤學ニ關シテ知り得ル處ノ格言ヲ舉ゲヨ

(2) 賓客ニ待スル作法ニ就キテ

賓客ノ來訪セシトキハ如何ニスルヤ〔此答ヲ得テ次ノ問ヲ起ス〕



來賓ヲ迎フルトキ應對ノ注意ヲ問フ〔全上〕  
家人ノ留守ナル場合ニハ如何ニ處置スルヤ〔全上〕  
賓客ノ傍ニ陪待スルトキノ留意如何

讀書科

(1) 人ノ身体ハ日々使用セラル、ニ隨ヒ漸々廢物トナリ皮膚ヨリ蒸發シ或ハ口ヨリ吐キ出サレ或ハ全身ノ垢トナリテ減損止ムトキナシサレド人ハ器物ノ一タビ減損シテマタ快復セザルガ如クナラズ常ニ食物ヲ以テコレヲ補フコトハヌトヘバ古キモノ、務メテ畢ヘテ去レバ新シキ物來リテコレニ代ルガ如シコレヲ新陳代謝ト云フ

〔曾テ教授セル書物中ノ字句ヲ顛倒排置シ以テ其應用ヲ試ム〕

(2) 小野道風少きとき書をまゐるべども上達せざりしが一口

後園ホ歩いて蛙の柳乃枝にとびあがらんとして屢々身をわごらゝ遂に枝ホ移りければ之を見て大に感じふれよりまなびて怠らず後遂に書名を高くせりといふ

〔修身科教授ノ際口述セシ事實ヲ綴文シ以テ活用ヲ試ム〕

(3) 書取

人ノ食物ハ胃中ニ入りテ消化シ体中ニ廻リテ血トナリ肉ヲ増シ骨ヲ補ヒ且汚キ物ヲ洗ヒ取リテ肺ニ至レバ空氣コ、ニ來リテコレヲ掃除ス

白木綿一反 散田米三拾五俵ト端米三斗五升 油粕  
干鰯 薪炭 材木 藍貳拾五貫三百目

作文科

(1) 茶



(2) 茶摘女の周旋を依頼する文

但志太郡藤枝町百十九番地藤波市郎ニ宛五月一日ヲ期シテ十五人雇入ル、モノト仮定ス

〔封袋巻紙ヲ與ヘ兼テ其使用法ヲ試ム〕

筭術科

(1) 四斗入ノ米一俵ノ代金貳圓八拾錢ナル時ハ壹斗五升ノ價幾何〔心筭〕

(2) 草生地ヲ開墾シテ六千本ノ桑苗ヲ植付ケタルニ一坪ニ付八本ツ、トスレハ三十二本不足スト云フ坪數幾何

(3) 志太郡稻葉村瀬戸川筋六ヶ所（新田橋、赤坂橋、蒼生橋、以上方言）ノ架橋費見積高ヲ平等ニシテ筭スルニ金壹千三百九拾五圓四拾六錢ヲ積立金ヨリ支出シ其他尙一戸ニ付貳拾

五錢ツ、四百十八戸ヨリ出金スルノ取極メナリシニ都合アリテ新田橋ノミヲ架設スルコトニ決セリト云フ該橋ノ費用幾何

(4) 明治二十三年度稻葉尋常小學校ノ經費ハ金五百圓ニシテ内三百四拾七圓六拾錢ヲ學区内ノ戸數ヨリ徵集シ余ハ授業料ノ集金ナリト云フ然ラバ現今二百五十四人ノ生徒ニ分頭セバ一人一ヶ月ノ授業料高幾何ナルヤ  
(5) 或人半ケ年間ノ出費ヲ調査セシニ口唱スル如クナリト云フ迅速ニ計筭スベシ

三圓七拾五錢、拾五圓五拾錢六厘、貳拾五圓七錢九厘、  
七圓四拾七錢五厘、五拾六圓六拾錢壹厘、八拾六錢四厘、

習字科



御注文の袴地と唯今品切ニ付着荷次第直ニ御届申上ベ  
く候〔草行交リ〕

落物届

一紙入 一個

但黒羅紗

内ニ

手帳 一冊

小印 一ツ

壹圓札 五枚

証書 二通

右ハ昨夜八時頃藤枝町原區通行ノ節取落シ候間此段御  
届申上候也

住所

明治二十四年三月十六日 何之誰

藤枝警察署長岡信則殿

〔左東野紙ヲ與ヘテ記載方ヲ試ム〕

体操科

行進、踏替、分列、

嘸鈴体操第一演習十八節ヨリ二十三節マデ  
矯正術三節、七節、十四節、

瀬戸谷尋常小學校

修身科

(1) 凡テ人ハ將來ニ志ヲ果サントスルモ其間色々障碍ノイ



デ來ルニ逢ヒ遂ニ望チ果サ、ル者多シ如何セバ志チ果  
シ得ラルベキヤ實例及ビ之ニ適スル格言ヲ舉ゲヨ

(2) 食事スル時最モ注意スベキ事ヲ列擧セヨ

讀書科

(1) 猿ハ善ク人ノ真似ヲナセドモ善惡ノ差別ナク真似スル  
ナリモシ人アリテ他人僞レハ已レモ僞リ他人粗暴ヲ加  
フレハ已レモ粗暴ヲ加フルナラハコレ善惡ノ差別ヲ知  
ラザルナリ何ヲ以テカ猿ノ人真似ト異ナラン〔日本讀本  
五、猿ノ人真似ノ内〕

(2) 機轉ナル醫師アリテコノ人ヲ診察シテ曰ヒケルハコノ  
病到底余ガ手ノ及ブ所ニアラス某ノ國某ノ山ニ一人ノ  
名醫アリ死スベキヲ起シテ生ニ回スコト百發シテ百中

ス然レモコノ人繁忙ヲ厭ヒテ敢テ都會ニ出テス君宜シ  
ク往キテ治療ヲ乞フヘシ〔日本讀本六勇氣ノ内〕

(3) 書取

世界ノ動物トシテ徒ニ食ヒ徒ニ眠ル者ナシ

太郎ハ朋友ノ親切ニヨリ飢エ死ナサルコトヲ得タリ

作文科

(1) 病氣全快を親族へ知らせる文

(2) 改印届

算術科

(1) 商人一年間ニ利金貳千八百貳拾圓ヲ得タリト云フ然ル  
時ハ平均一ヶ月ノ利益何程ニ當ルヤ

(2) 長十一間濶六間ノ畑地アリ今桑苗ヲ植ルニ一坪ニ四株



宛ト定ムル時ハ總計幾何ヲ要スルヤ

(3) 或人五百八拾七圓ノ價ヲ負ヒ内四百七拾五圓ハ正金ヲ以テ償ヒ殘金ハ一俵參圓貳拾錢ノ米ニテ皆濟セントスル時ハ幾俵ヲ與ヘテ可ナルヤ

(4) 農家收穫米百四拾六石四斗貳升アリ内飯米トシテ拾五石四斗貳升ヲ殘シ其餘ヲ壹石ニ付拾貳圓ノ相場ニテ賣拂ヒ之ヲ以テ六町歩ノ田地ヲ買ヒシト云フ一町歩ノ價何程ニ當ルヤ

習字科

只今拜見委細承諾仕候〔行書〕

体操科

啞鈴体操第一演習一節ヨリ十六節マテ

伊久身尋常小學校

修身科

(1) 忠ノ格言一ヲ舉ゲテ解ヲ爲セ

(2) 客ヲ饗ス器物ノ注意如何

客ニ薦ムル食物ノ心得如何

讀書科

(1) されバ此時諸國の武士も南朝に従ふものと北朝に仕ふるものとありて兵亂年々うち續き天下一日も安き時あかりき南朝と後醍醐天皇より後龜山天皇まゝ三代にて五十餘年間續きたりしが遂に南朝より三種乃神器を北朝の後小松天皇お傳へられ南北兩朝合一とはなれり

〔尋常小學讀本六二十五課ノ内〕



(2) 家康は其ひとくなお心ゆるやうにして博々人を愛し能く兵を用ひ又學問を好みたる人おしく天下を治むれこそお深く意を留め且朝廷を尊び敬ひ自ら節儉を主として下をめぐめりすべく事を爲れには必ず百年乃後を謀り種々お掟をも定めれば子孫皆其教を守りて太平二百六十年餘もうちつゝきたり〔尋常小學讀本七第十九課ノ内〕

(3) 書取

飾、勵、影、屈曲、保護、印刷、賢、豆南、默然、抱、完全、酸素、蟻、

作文科

- (1) 家督相續届
- (2) 到來物を配分する文

算術科

- (1) 五十坪ノ地アリ内間口三十五間奥行四十五間ノ地ヲ賣拂へバ残り坪數幾何
- (2) 炭八十五俵ヲ一俵ニ付三拾八錢ノ割合ニテ仕入レ之ヲ賣リ拂ヒ貳圓五拾五錢ノ利ヲ得ンニハ一俵ノ賣價幾何
- (3) 一袋六貫目ノ椎茸ヲ百二十五袋ニテハ目方何程
- (4) 八圓九拾五錢、六圓三拾四錢、貳圓拾六錢、七圓八拾錢、九圓拾貳錢、五圓四拾壹錢、三圓四拾八錢ノ合計何程〔速算〕

習字科

只今電報到來候處生糸〔草行交リ〕

体操科

徒手体操第二演習三節ヨリ十二節マデ



啞鈴体操第一演習九節ヨリ十四節マデ

笹間尋常小學校

修身科

- (1) 人貧困ナレバ學問スルヲ能ハザルカ將タコレヲ勉強スルノ方法アルカ
- (2) 人ト交リ争ヲ生スルヲナカラシムルコトハ如何シテ可ナルヤ

讀書科

- (1) 明治ノ今上天皇乃御位に即ルセ給ヒ一時ニ定められたる年號あり其元年に征夷大將軍徳川應喜天下の政事を盡く朝廷に返上して天皇親しく政事を取らせられたるに

至れりみれを明治維新と云ふ〔尋常小學讀本七第二十八課ノ内〕

- (2) 六百餘年乃むかひより武家お移りし兵權も天下の政事も残りぬく一時おかへる君が御代盡せや盡せ君れ爲め祝をへやいはへ君が御代〔尋常小學讀本七第二十九課ノ内〕

- (3) 小野道風少きとき書をまゐるべども上達せざりしが一日後園に歩いて蛙乃柳の枝よ飛揚らんとして數たび身をふぶつゝ後には遂に枝に移りけれを見て大お感じ是より勉強えて怠らず後遂に書名を高々せり〔活川文〕

(4) 書取

我國に支那文學の興りへの應神天皇れ頃始まりなるべし

作文科



- (1) 種糶交換を乞ふ文
- (2) 欠席届

算術科

- (1) 職人アリ六週日働キ賃金拾壹圓七拾六錢ヲ得タリ一日ノ賃金所得幾何
- (2) 米百四十俵ト麥百七十五俵ト價額均シ今麥一俵貳圓六拾錢ナルキハ米壹俵代幾何
- (3) 人遺言シテ其貯金三万六千四百八拾圓ヲ二分シテ男女ニ與フルニ男子十二人女子十五人アリ因テ男女各ノ得ル所幾何
- (4) 一俵貳拾貳錢宛ノ炭九百九拾五俵ヲ買ヒ運賃拾壹圓九拾四錢ヲ拂ヒ之ヲ賣テ拾七圓ノ利ヲ得ンニハ一俵ノ賣

價幾何

習字科

郊外散步之御供申度候〔行書〕

体操科

啞鈴体操第二演習一節ヨリ十六節マデ

東川根尋常小學校

修身科

- (1) 死或ハ鴻毛ヨリモ輕ク或ハ泰山ヨリモ重シト云フ格言ヲ解シ且事實例証ヲ舉ゲテ生等ノ意向ヲ述ベヨ
- (2) 才藝ハ年齢ニヨルモノ大將ヲ勉強ニヨルモノカ實例ト格言トヲ舉ゲテ答辨セヨ



讀書科

- (1) 馬ハ其性順良ニシテ能ク人ニ馴レシタガフモノナリ故ニ荷ヲ負ハセ車ヲ牽カシメ耕作ニ用フ又歩行速カナルヲ以テ騎乗ニ供シ軍隊ニ用フ〔新文活用ヲ試ム〕
- (2) 龜山天皇の御時支那元朝の主忽必烈といふをの使者とさしこして吾れ新たに支那國を一統し近隣の諸國皆吾れも屬せり日本國も亦吾れも伏従すべし若之を拒まば軍兵をさしむけんといふ天皇鎌倉の北條時宗に救して此の事を計らへしめたまふ〔新讀本五、十三章ノ内〕

(3) 書取

水蒸氣ノ空中ニアルモノ急ニ烈シキ寒冷ニ遭フキハ雨トナラズ凝結シテ氷片トナリ地上ニ降下ス之ヲ雪ト云フ

作文科

- (1) 静岡市吳服町六丁目靜陵館に多是迄購讀せし穎才新誌を斷り更ハ少年園を注文すれ文
- (2) 梅

算術科

- (1) 東川根尋常小學校第四年級ニ係ル一月分ノ生徒出席總數ヲ調アルニ本校百十席青部分教室五十六席桑野山分教室五十四席ニシテ授業日數ハ二十日間ナリ問フ一日平均幾人宛出席セシヤ〔心算〕
- (2) 一冊百三十五枚ノ書籍七十五冊アリ之ヲ十五日間ニ讀ミ盡サンニハ毎日幾枚ヲ讀ムベキヤ
- (3) 晝ハ貳拾五錢ノ工錢ヲ得夜ハ行商シテ拾七錢五厘ヲ得



ル人毎日ノ食料諸雜費ハ金三拾錢ナリト云フ三十日ノ末ニハ何圓ノ貯アリヤ

- (4) 東川根學校ノ建物内ニ間口二間半ニ奥行六間ノ庇アリ此庇ニ五坪ノ板敷ト二坪ノ土間及ビ半坪ノ爐アリテ他ハ悉ク疊ヲ敷キタリ間フ疊何疊ヲ要スルヤ

習字科

御書面拜見委細承諾仕候〔草行交リ〕

体操科

嘸鈴体操第一演習九、十、十一、十二、十三、十四、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十七、二十八、二十九、四十節

徳山尋常小學校

修身科

- (1) 恭儉ノ意義及恭儉ニ就テノ事實格言ヲ問フ
- (2) 信義ノ意義及信義ニ就テノ事實格言ヲ問フ

讀書科

- (1) 江島ハ鎌倉乃西に在リ一條の沙路陸地より連り潮退く時と歩いて至れべし全島怪巖奇石相連り海山の風光頗秀美なり島後乃崖下ハ洞窟あり俗に之を龍穴といふ鎌倉及此の島と東京に近きを以て都人士の杖を曳々もの四時絶えず〔普及舎發兌尋常小學讀本七第五ノ内〕
- (2) 寒往けば則暑來り暑往けば則寒來る盛夏炎熱の候と變じて嚴寒凜烈の時となり艶春花を看るれば期は化しき清



秋月を賞まゐる此節となる満月の風景倏忽其の觀を改め  
以て吾人乃心を樂まゝむ  
〔普及舎發兌尋常小學讀本八第九ノ内〕

(3) 書取

糯と黍を造るに用ひ他は皆飯小すべし

茶、油粥、温飩、素麵、

作文科

(1) 桑苗見本を送る文

(2) 椎茸

算術科

(1) 金參錢五厘、拾五錢七厘、參拾五錢、五錢、八拾四錢、壹圓貳拾錢、參圓、四圓八錢五厘ノ加チ問フ  
〔口唱速算〕

(2) 上米五千貳百九拾三石下米は上米より貳千三百〇七石

少く下米幾何

(3) 石代拾貳圓ノ米拾壹石ツ、車ニ積ミ九十五輛輸出スル  
時ハ其代金総計何程

(4) 米三拾九石五斗貳升アリ金壹圓ニ壹斗九升替ニテ代金  
何程ナルカ

習字科

打揃重歳致候間御省慮  
〔草書〕

体操科

整頓法、運動法、  
徒手体操一節ヨリ八節マデ



修身科

(1) 報恩トハ如何

其格言及ヒ實例ヲ述ベヨ

(2) 長者ニ對スルノ心得ヲ問フ

讀書科

(1) 秀吉ハ金の瓢箪を以て馬ゑるしとなり一度戰に勝つ毎に一つの瓢箪を加へてつひ小千小至らしめんとて千あり瓢箪と稱へけるが信長の軍と出す毎に其軍中に千あり瓢箪乃見ゆる時と敵兵皆怖れて之と避たり

〔尋常小學讀本七第十五課ノ内〕

(1) 人と少年たると壯年とるとを問はず年々進歩するを以て世を處する乃道を立ざるのあま其學校に在りて鶏鳴

(3) 書取  
て起き孜孜として學業に従事するも其社會に出る官吏となり工商とあり其業務も從事するも一家乃獨立と公益を重ずるふあり〔新文活用ヲ試ム〕

身体乃健康ハ血液ふあお勉めて運動を爲ざれば何れ益かこれあらん

作文科

(1) 水車一臺製造人へ注文する文

(2) 出生届

算術科

(1) 絹貳尺ノ代金拾八錢ナルキハ同品五尺ノ價幾何ナルヤ  
(2) 六人各貳百五拾圓宛資本ヲ出シテ商社ヲ開キ其年末ニ



元利合金千七百四拾圓ヲ總計セリト各所得ノ利益幾何ナルヤ

(3) 三千七百八十俵ノ米ヲ運送スルニ一車ニ十八俵宛七輛ヲ用井ルキハ幾度ニシテ運ビ盡スヤ

(4) 貳拾五錢、參拾六錢七厘、四拾九錢參厘、貳圓八拾錢壹厘、拾貳圓七拾五錢貳厘、拾五圓貳拾錢、參拾五圓六拾錢、六拾參圓八拾錢五厘、七拾九圓六拾貳錢七厘ノ總加ヲ問フ

〔口唱速算〕

習字科

農談會費金貳拾錢御渡一申候〔草行交リ〕

体操科

啞鈴徒手第一演習一節ヨリ十六節マデ及ヒ準備法

### 大津尋常小學校

修身科

(1) 勅語ニ關スル日頃ノ用意ヲ試ミ且注意ヲ後來ニ精確ナラシメンガ爲メ左ノ各項ヲ問フ

明治廿三年十月三十日ハ如何ナル日ゾ

勅語奉讀ニ差支ハナキヤ且畧ボ其意ヲ解シ得ルヤ

勅語ニ對シ奉リ如何ナル感ヲ起セシヤ

爾來學校ヲ去レバ直接ノ師ニ離ル、ナリ然レモ此

勅語ハ實ニ尊嚴ナル汝ガ師ナリ此ノ師ノ命ヲ忘レザラ

ントセバ如何スルヤ

勅語ヲ奉讀スルハ如何ナル考ヲ以テ且如何ナル作方ヲ

心得ベキヤ



(2) 大禍ハ小事ヲ慎マザルニ因テ起ルト云フコトニ就テ  
 農家ノ火災ナドニ遇フハ如何ナルトニ原因スルコト多キヤ  
 最初ニ之レニ注意セバ如何  
 何事ニ拘ハラズ大ナル禍ニ陥ルハ如何ナル原因多キヤ  
 大禍ヲ免レントセバ平常ノ用意如何  
 其事實ヲ短キ言語ニテ言ヒ現ハスヲ得ルヤ

讀書科

(1) 明治は 今上天皇ハ御位ホ即カセ給ヒ去時ニ定められ  
 たる年号あり其昔我日本ハ政事其他何事を皆 天皇親  
 ら行ヒ給ヒたりしガ源頼朝ガ鎌倉ニ幕府を立てしより  
 ころか六六七十餘年の間は武家の天下となりて  
 朝廷乃御威光振とぞまししガ 今上天皇ホ至りて天下の

政事再び 朝廷に歸したり之を明治維新と云ふ

〔尋常小學讀本七第二十八課中ノ字句ニヨリ綴文ス〕

(2) 冬乃時候にて水蒸氣冷氣にあひてこりり白片とあり降  
 り來れことあり是れ即ち雪に多顯微鏡を以て之を見  
 る時ハ其形の種々ありて且美しくしきふとを知るを得べ  
 し

〔全上第二十一課中摘文〕

(3) 恭儉已レヲ持シ、博愛衆ニ及ボシ、義勇公ニ奉シ、  
 忠良ノ臣民、〔勅語中摘句〕

(4) 書取  
 あれ夜信長某を訪ひて其歸るさ藤吉と呼び汝ハ今迄吾  
 が下駄に腰を掛けて待ちぬたれあらん不埒なり  
 城壁、柔軟、催促、呼吸、危難、瀧川、朝辭、丹誠、



- (1) 出生届
- (2) 縁組貰受届
- (3) 他郷小在る兄の許へ父の病氣を知りする文
- (4) 蠶卵紙を注文した文
- (5) 卒業後ノ見込ヲ記セ

習字科

當月分農談會費金拾五錢差上候間請取証御渡下され  
度候〔草書〕

算術科

- (1) 一狀代金參錢參厘ノ左束十狀ヲ求メ五拾錢紙幣ニテ拂  
ヒ其殘金へ七錢ヲ加へ習字筆六本ヲ買ヒ得シト云フ筆

一本ノ價如何〔心算〕

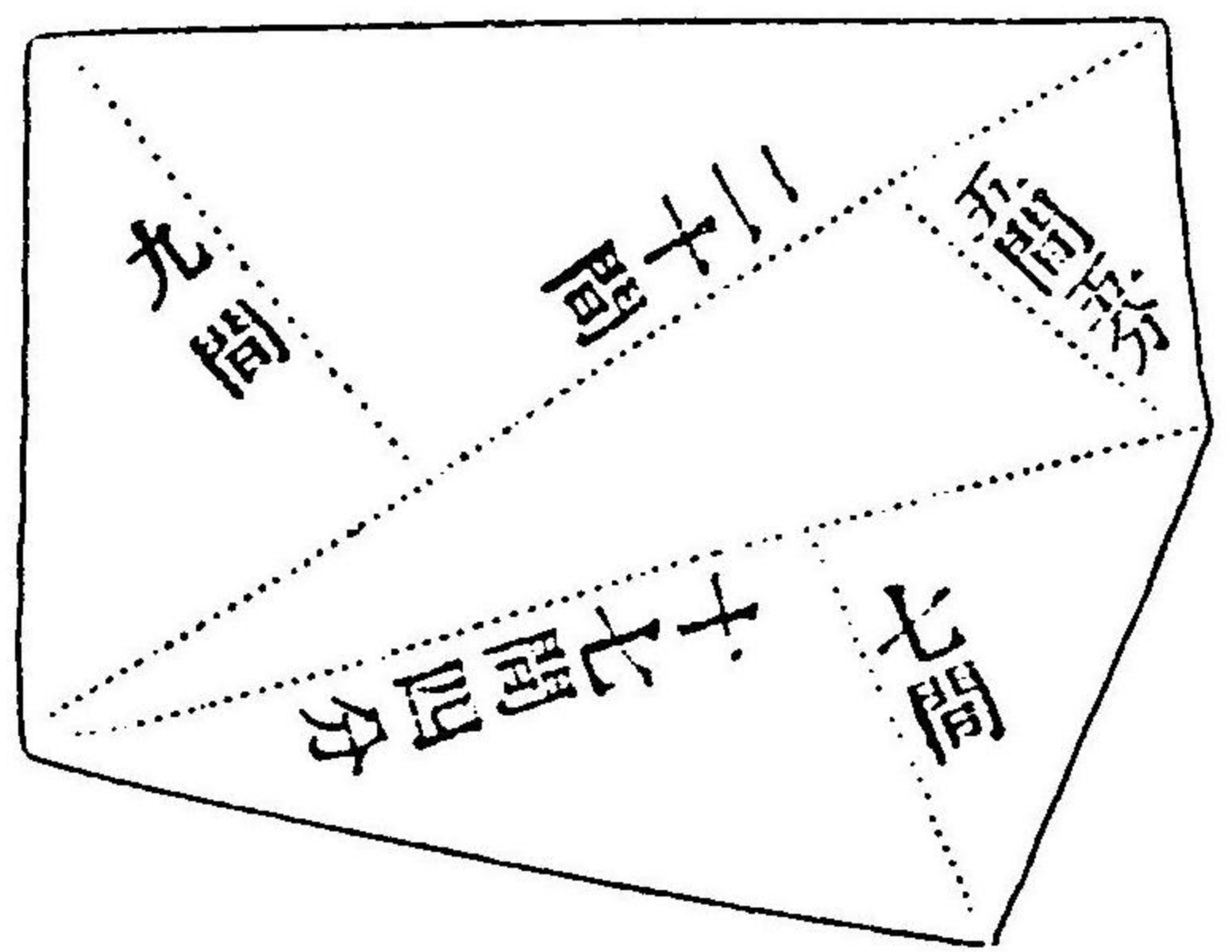
- (2) 一家族毎月ノ飯米平均六斗宛トスレハ一ケ年間ニ四斗  
俵何程ヲ要スルヤ〔心算〕

- (3) 一籠ノ生椎茸貳拾五錢ツ、ニテ四籠買ヒ乾シテ之ヲ壹  
圓貳拾六錢ニ賣リ其益金ヲ以テ一個貳錢ノ茶ビクヲ買  
フキハ幾何ナルヤ〔心算〕

- (4) 炭一竈ヲ燒キテ四俵ヲ得タリ一俵ハ拾壹貫目一俵ハ拾  
貫四百目一俵ハ九貫六百目又一俵ハ九貫五百目ナリ今  
之レヲ壹圓ニ三拾六貫目換ニ賣ルトキハ代金何程受取  
ルベキヤ

- (5) 金壹千圓ヲ以テ一俵代金貳圓八拾六錢ノ米若干俵ヲ買  
入レシニ殘金拾參圓參拾錢アリト云フ其俵數如何





(6) 大津尋常小學校敷ノ地ハ  
上圖ノ如シ其反別如何

- (7) 瀛車ハ一時間ニ凡十九哩走ル而シテ一哩ハ我十四町四十三間一尺ナリ日本里法ニシテ幾何ナルヤ
- (8) 金參百五拾圓ヲ一年七朱ノ單利ニテ三年間預ケ置クハ元利合金若干
- (9) 瀛車中等乗客ハ手荷物六拾斤迄ハ無賃ニテ運搬セリ今

(10) 手荷物ノ目方拾四貫四百目アルキハ幾斤多キヤ  
 通常歩調ニテ一里ヲ進ムニ四十五分ヲ要ス今路程十五里ノ地ニ達センニハ幾時間ヲ要スルヤ  
 但休ミ時間ハ算入セズ

体探科

体探豫備法

徒手体探第二演習十五節ヨリ二十四節マデ  
 啞鈴体探第一演習一節ヨリ二十九節マデ

島田尋常小學校

修身科

(1) 己ニ克ツハ徳ニ入ルノ門ナリトハ如何ナル意義ゾ又之



ニ適合セル事實ヲ舉ゲヨ

- (2) 極メテ大切ナル書狀及ビ至急ヲ要スル書狀ヲ郵便ニ付スルニハ如何ナル手續ニヨルベキヤ
- (3) 面識ナキ人ヲ訪フキノ心得如何

讀書科

- (1) 象ハ我が國ホモ居ラぬ多々熱き國に産シあまゝ群をなして森の中ニ住み木乃實稚枝穀物等と食シ河に近傍の地を選びて住むものなり〔尋常小學讀本六第十六課ノ内〕
- (2) 豊臣秀吉ハはじめ猿之助と云ヒ一頃松下之綱に召シ抱られ一が人々のうねみに逢ひ去りて織田信長ニ仕へ名を藤吉と改め屢忠義の働ありしをば次第に重々用られしが遂に善き謀をあんがへく齋藤山城守を亡びし美濃

- (3) 書取  
全國を取わしかバ信長大に喜び祿を増し旗を興へて其功を賞し名を秀吉と改めしめたか  
(尋常小學讀本七第八課中ヨリ抜抄ス)

牽牛花乃外側ニ在リて綠色なる部分ヲ萼あり  
鎌倉權五郎、愉快、感服、

作文科

- (1) 留學先より父母小宛て、衣服送方を求むる文
- (2) 茶

習字科

卒業試験首尾能御及第之由芽出度奉賀候〔草書〕

算術科

- (1) 金壹圓ヲ所持シテ市ニ行キ石板八枚ヲ買ヒシニ金拾貳



錢ヲ余セリト云フ然ルキハ石板一枚ノ價何程ナルヤ

〔心算〕

- (2) 二千八百四十五本ノ茶ヲ方形ノ畑ニ植エシニ百四十五本ヲ餘セリト云フ若シ縦七十五本トセバ横何本ナリヤ
- (3) 米六十四俵ヲ金貳百拾貳圓貳拾錢ニテ買ヒ之ヲ賣テ金拾五圓ヲ利センニハ一俵ノ價ヲ幾何ニ定メ可ナリヤ
- (4) 島田尋常小學校ニ四年生八十三人三年生百三十九人二年生二百十六人一年生三百九十七人アリト云フ今一人一ヶ月四年生金八錢三年生七錢二年生六錢一年生五錢ノ授業料ヲ納ムルモノトセバ同校一ケ年ノ授業料總計幾何ナルヤ

体操科

徒手体操第一演習十八節ヨリ終マデ

啞鈴体操第一演習八節ヨリ十五節マデ

唱歌科

太平曲 二段

六合尋常小學校

修身科

- (1) 用ヲ節シ人ヲ愛ス「此格言ヲ誦讀セシメ其意義ヲ解セシメ事實ヲ談セシム
- (2) 他人ノ善行ヲ見又ハ己レニ過アルヲ知ラバ如何ニ處スルヤ善ニ遷リ過ヲ改メシ古人ノ行爲一二ヲ話セ

讀書科



(1) 平清盛が全盛チ極メシ以前藤原氏天下ノ政ヲ取リソノ  
 一門富貴繁昌チ極メタリ宇多天皇藤原氏ノ我が儘漸増  
 長スルチ患ヘ給ヒイカデ頼モシキ大臣ヲ得テコノ我が  
 儘チ防ギ天下チ太平ニスベキト思シ召シケリコノ時一  
 人ノ豪傑アリ即菅原道真ニシテ心正シク智慧深ク諸ノ  
 學問ニ通達セザル所ナカリケレバ天皇モコノ人コソト  
 思シ召シテ文章博士ヨリ遂ニ右大臣マデ進メ給ヒキ

〔日本讀本ノ五菅公ノ章〕

(2) 昔備前ノ國ニ池田光政ト云フ賢キ大名アリキノ領地  
 ニ兄弟ノ訴訟アリソノ親戚朋友兩方ニ分レテ各道理チ  
 述べ及ビ証人トナリ數年チ經レドモ曲直分レザリキノ  
 レニ由リテ光政ハ泉某トイフ學者ニソノ裁判チ命シケ

(3) 書取  
 ルニ泉辭シテ曰ハク臣ハ儒官ナリイマダ訴訟チ裁判セ  
 シコトナシ願ハクハ他人ニ命シ給ヘ光政曰ハクソレ或  
 ハ然ラン然レドモ思フ様アリテ汝ニ命ズルナレバ重子  
 テ辭スルコト勿レ泉モサル者ナリケレバ謹ミテ命チ承  
 リ私宅ニ歸リキ〔日本讀本六兄弟ノ情一章ノ内〕

人間ハ動物ニ勝レヌル智慧アリ  
 わつと、ハ蒸氣ノ力チ發明セリ  
 學問チ勉強シ錦チ着テ故郷ニ歸ル

作文科

- (1) 高等小學へ入校を勧むる文
- (2) 出生届



習字科

小學全科卒業仕候〔草行交リ〕

算術科

- (1) 兄弟二人ヲ學校ニ出スニ兄ハ月謝金五錢弟ハ其半額ナリ一ヶ月ノ筆墨代金貳錢五厘トセバ二人一ケ年ノ入費何程〔心算〕

- (2) 七百三十六里ノ道ヲ行クニ一日十二里ツ、四十三日間旅行セバ残り何里ナルヤ

- (3) 甲乙丙ノ三組アリ甲ハ百五十人乙ハ百二十七人丙ハ百八十人ナリ若シ平均一人三帖ツ、ノ紙ヲ與フトセバ何帖ヲ要スルヤ

- (4) 玄米壹升ノ代金八錢五厘ノ時四斗貳升入一俵ヲ以テ醬

油ト交換スルコ七拾貳錢ノ追金ヲ出シテ參斗參升入二樽ヲ得ヌリ醬油壹升代金何程ナリヤ

- (5) 金壹圓貳拾五錢、八拾六錢七厘、壹圓九錢、六拾錢參厘、貳拾九錢、五拾三錢ノ計ヲ問フ〔口唱速算〕

体操科

矯正術四節、七節、十二節、五節、  
徒手体操第一演習七節ヨリ十二節マデ

青島尋常小學校

修身科

- (1) 人ハ生長ノ後皆ソノ家ヲ富マヌ事ノミニ從事セバ足ルカ
- (2) 身軀ヲ強壯ニセバ如何ナル事ヲナシ得ルヤ



- (3) 森蘭丸ハ如何シテ信長ノ佩刀ヲ得シヤ
- (4) 森蘭丸ハ如何ナル人ト云フベキカ又ソノ適當ナル格言ヲ擧ゲヨ

讀書科

- (1) 甘蔗ハ元來暖地ノ産ニシテ四國九州ノ地ニ産スレモ毎年印度臺灣等ヨリ輸入莫大ナリ又亞麻ヲ歐米諸國ヨリ買入ル高ハ無慮數十萬圓ニ下ラズモシ山野ヲ開キ無用ノ地ヲ墾シ此等ヲ植エテ其産ヲ收メバ國ヲ利スルコト誠ニ莫大ナラン  
(普通讀本四編上二十四課及ヒ全下第六課ノ字句ヲ以テ綴文ス)
- (2) アンヂーガ父ノ住居ニ近ク鐵道アリ此小兒モ常々機關車ノ黒キ煙吹キツ、谷間小山ヲ轟カシテ勢ヒ狂フガゴトク馳セ來ルヲ眺メ居タルコトアリ此小兒一日鐵道ノ

上ヲ通りケルニ軌道ノ損シ居タルヲ見出シタリ齡尙ホ幼ケレバ固ヨリ鐵道ノ事ナド多ク辨へ知ルベキ様ナシ  
〔普通讀本四編下二十課ノ内〕

(3) 書取

世界萬國、病院、會社、鐵道、満月ノ愉快、勇士ノ精神、作文科

(1) 猿

(2) 推茸の相場を問合す文

算術科  
(1) (2) 珠算 (3) (4) 筆算

(1) 布貳丈八尺ヲ金壹圓貳拾八錢四厘ニテ買ヒタリ壹尺ノ價ヲ問

(2) 毎月金百八拾圓ヲ得テ百五拾五圓ヲ費ス人アリ六百貳



拾五圓五拾錢ヲ貯ヘンニハ何ヶ月ヲ要スルヤ

(3) (9里<sup>21</sup>町<sup>15</sup>間<sup>2</sup>尺<sup>1</sup>ー7里<sup>19</sup>町<sup>34</sup>間<sup>3</sup>尺) × 31 = . ?

(4) 三十五坪ノ地五ヶ所一町一反二畝廿八歩ノ地二ヶ所ヲ有シ一坪皆五拾錢ニ値ス今之ヲ一百五頭ノ牛ト交換セバ牛一頭ノ價ヲ問フ

習字科

尋常小學科卒業且優等証受領致候間御安心可被下候

〔草行交リ〕

体操科

徒手体操第二演習十節ヨリ十八節マデ

啞鈴体操第一演習一節ヨリ十四節マデ

右男生ニ課ス

大洲尋常小學校

修身科

徒手体操第二演習一節ヨリ十四節マデ

右女生ニ課ス

(1) 兄弟ノ争ノ起ルハ多ク何ヨリ始ルヤ

争ノナキ様ニスルニハ如何セバ宜シキヤ

兄弟過チアラバ如何ニスルヤ〔男女兩生ニ試ム〕

(2) 忠義トハ如何ナルゾ

右今忠義ヲ盡セシ人ヲ舉ゲヨ且學ビ得シ格言ヲ問フ

〔男生徒ニノミ試ム〕

(3) 煎茶ヲ人ニ進ムル仕方如何



來客アリシキノ心得如何

烟草盆ヲ進收スル仕方如何〔女生徒ニノミ試ム〕

讀書科

- (1) 其後外國乃交際もますます開行きて彼乃國乃學問工藝を取りこれを我が國に應用したれば世の日々開化も亦もむきて遂に今日に至りたり吾等が最も便利とする瀛車瀛船郵便電信なども多くは皆維新の頃より出來しものにて昔れ人れ夢にも知らざる所あるべし

〔尋常小學讀本七第二十八課ノ内〕

- (2) 蟲乃種類極めて多けれども其効用最も大なるものか  
いふあり我國にて年々外國に送る生糸をかいこのまゆより作りさるるも乃あり我國は氣候温和あり地味もく

己を作るに適えたる國あれば我等はかゝるをかひ國産と増殖すれことを勉めざるべからず〔讀本中抜鈔〕

(3) 書取

皇統連綿たるは世界萬國其れ比を見ず  
家屋建築に必用の材木なり

作文科

- (1) 高等小學校へ入學期日を友人に問合せる文
- (2) 子タル者ノ務

算術科

- (1) 農夫一反歩ノ茶畑ヲ所持シ製茶貳拾貫ヲ得タリ之ヲ壹貫目ニツキ平均金壹圓五拾錢ニ賣レリ然ルニ製茶費ニ七圓肥料ニ五圓ヲ費セリ一坪ニ付平均何錢ノ利益アリ



シヤ

- (2) 一 家族一日平均白米貳升五合ノ飯糧ヲ要セリ此家族飯米トシテ玄米四斗俵十俵ヲ貯ヘリ是ヲ白米ニシテ平均二割ノ春耗アリトセバ幾日ヲ支フベキヤ
- (3) 一 反六畝ノ田地アリ是ヲ一坪ニ付貳拾貳錢ニ買ハハ此代金幾何
- (4) 五千六百二十五個ヲ百五十三倍シ六百二十拾五分セヨ壹升八錢五厘ノ豆ヲ四升買ヒテ壹圓札ニテ勘定スルキハ幾何ノ差引ヲ取リテ可ナルヤ [心算]

習字科

教育新聞御覽濟之分此者に御渡一被下度候 [行書交リ]

体操科

啞鈴体操第一演習二十四節ヨリ二十九節マデ  
 啞鈴体操第二演習十三節ヨリ十八節マデ

高洲尋常小學校

修身科

- (1) 汝ヨリ出タルモノハ汝ニ反ルト云フノ意義且事實ヲ述ベヨ
- (2) 吉凶アリシ家ニ物品或ハ金錢等ヲ贈ルキノ心得如何
- (3) 家僕ニ對スル心得如何

讀書科

- (1) 農業ハ人間生命ヲ維グノ食ヲ供シ其寒暑ヲ防ク衣服ノ原料ヲ給スルモノナルガ故ニ世界何レノ國ニテモ之ヲ



必要ノ業トシテ務メザルモノナシ殊ニ我日本國ハ氣候  
温暖地味肥沃ニシテ尤モ米穀ニ適スルヲ以テ又瑞穂ノ  
國トモ稱セリ〔普通讀本四編下一課中ヨリ抄出シテ活川ヲ試ム〕

(2) 徳川家康ハ七十五歳にして世を去り駿河ハ久能山に葬  
リ―が後又日光山に改葬して朝廷より正一位を贈り  
て東照宮の神號を賜はり徳川幕府乃先祖として永く世  
ホ其功德を傳へたり〔尋常小學讀本七第十八課ノ内〕

(3) 書取

常に吾等のまじりに一種ノ物ありて色又ハ臭も味をな  
く目口鼻よにも知ること能はずこれ即空氣あり

作文科

(1) 梅

(2) 子守乃雁入を頼む文

算術科

- (1) 甲乙ノ大工アリ甲ハ一日ニ金貳拾五錢ヲ取り乙ハ甲ノ  
八日分ヲ十日間ニ得ルト云フ然ルキハ乙一日ノ賃金何程
- (2) 或人一俵金三圓ツ、ノ米百五十俵ヲ買ヒ後チ之ヲ他へ  
賣リシニ金參拾圓ヲ利セリト云フ然ルキハ其賣價何程
- (3) 桑園アリ一坪ノ地ニ三株ツ、トシテ總計九百三十六株  
ヲ植フベシ而シテ濶サ八間ナルキハ長サ何程
- (4) 金參圓拾五錢、五圓拾八錢、七圓貳拾錢、壹圓五拾錢、四圓參  
拾七錢、貳圓七拾參錢、五圓四拾八錢、貳圓八拾錢、八圓參拾  
六錢、壹圓拾八錢ノ総金何程〔口唱速算〕

習字科



御約束之茶種差上申候〔草書〕

圖 書 科

羽子板 摸本ニヨリ書カシム

体 操 科

矯正術 三節、十五節、

哑鈴体操第一演習十節ヨリ二十三節マデ

豊田尋常小學校

修 身 科

(1) 道ヲ行ク時外見セバ如何

闊アル場所又ハ鉄道線路内へ立入テ宜シキヤ

途上高歌放吟シテ可ナルヤ

途上祖キ又ハ脛ヲアラハシテ宜シキカ

(2) 忠トハ如何ナルゾ

松平長四郎秀忠將軍ノ便室ノ擔ニアル雀兒ヲ捕ヘント

セシハ何故ゾ

同人誤テ失脚地ニ墜チ將軍ニ詰責セラレシ時何ト答ヘ

シヤ

竹千代ノ命ナリト言ハザリシハ何故ゾ

讀 書 科

(1) 山林ハ國ノ材源ナリ朝夕薪炭ノ料モコレヨリ生シ造家  
築屋ノ材モコレヨリ出ス自餘日用器什ノ製造ヨリ飲食  
膳具ノ調設ニ至ルマデ總テ資ヲコレニ仰ガザルハナシ

〔普通讀本四編下二十二課、内〕



(2) 砂糖は種々の植物より製することを得れども我が國にてハ重に甘蔗より取るなり甘蔗は暖き地に適る故ハ我が國れ中にて甘蔗を培養する國ハ薩摩沖繩肥前及び南海道の國々と伊勢尾張駿河の數國とハ過ぎず

(尋常小學讀本六第二十四課ノ内ニシテ普通讀本ノ力ニヨリ其活用ヲ試ム)

(3) 書取

空氣ハ我が地球ヲ包メル無色透明ノ氣體ナリ

鯨ハ其形魚に似たれども海中ハ産る哺乳動物なり

作文科

- (1) 轉宅を報ずる文
- (2) 徴兵適齡届

算術科

- (1) 二十八人合資シテ商ヒテナシ年末ニ至リ利益金ノ内壹千圓ヲ積ミ其余ヲ平等ニ配分セシニ一人分百五拾圓ツ、ヲ得タリト云フ総益金幾何
- (2) 農家ニテ壹升金七錢貳厘ノ米參升ヲ賣リ砂糖貳斤ト貳錢六厘ノ手拭一筋ヲ買ヒシト云フ砂糖壹斤ノ代何程
- (3) 或人毎夜草鞋ヲ造リ之ヲ賣リテ其金ヲ貯ヘシニ十年ノ後金五拾六圓三拾九錢貳厘五毛トナリ其内壹圓六拾四錢貳厘五毛ハ利子ナリト云フ一日平均何程宛貯ヘシヤ
- (4) 或人四反二畝歩ノ田地ヲ持テリ此散田米坪五合トスレバ総俵數幾何

習字科

今夕私方ホク讀本會讀致候〔草行交リ〕



体操科

球竿体操一節ヨリ十五節マデ

大富尋常小學校

修身科

- (1) 學問ヲ爲スノ目的如何
- (2) 成長ノ後公共ノ事ヲ爲スコトアラバ如何ナル心ヲ以テスベキカ并ニ之ガ格言ヲ擧ゲヨ
- (3) 火災ニ罹リシ家及其近所ノ家へ見舞ニ行キシトキノ口上如何

讀書科

- (1) 金剛石モ磨カザレバ唯是一個ノ見榮モ無キ石塊ニシテ

光アリテ貴ブベキ玉トハナラザルベシ人モ亦生レタルマ、ニテ幼キ時ヨリ學問モナサズシテ徒ニ光蔭ヲ費ストキハ夢ノ間ニ年老イテ終ニ何事ヲモ成シ得難カルベシ

(普通讀本四編ノ上十三課及同下十九課中ノ文字ヲ用井テ新ニ綴リシモノナリ)

- (2) 山林ハ國ノ材源ナリ朝夕薪炭ノ料モコレヨリ生シ造家築屋ノ材モコレヨリ出ス自餘日用器什ノ製造ヨリ飲食膳具ノ調設ニ至ルマデ總テ資ヲコレニ仰ガザルハナシ

(普通讀本四編ノ下二十二課ノ内)

- (3) 書取

生徒体操ヲ行フ、鯨ハ哺乳動物ナリ、  
農ハ我が務ムベキ産業ナリ、瀛車漸ク進ミ來ル、

作文科



(1) 寒暖計

(2) 尋常小學校卒業生ヨリ高等小學校生徒へ同校へ入學願  
ノ書式ノ教示ヲ頼ム文

習字科

學校新築費寄附手續御教示願上候〔草行交リ〕

算術科

(1) 或人三年七ヶ月ノ間ニ金貳百七拾五圓六拾貳錢九厘ヲ  
貯蓄セリト云フ依テ問フ一ヶ月平均幾何ヲ積ミシ勘定  
ナルカ

(2) 學校土坪人足午前第八時十五分ヨリ午後第五時十五分  
マデニ二十五坪八合ノ土ヲ運ベリトイフ一時間幾何ニ  
當ルカ

(3) 今度新築ノ大富尋常小學校敷地建物ハ凡ソ左ノ通ナリ  
依テ問フ運動場ノ坪數何程ナリヤ

敷地 東西二十八間 南北二十四間三尺

建物 南袖教室 間口十六間 奥行五間

本棟教室 四十五坪

北袖教室 百一坪五合

雪隠 十二坪

(4) 一反四畝廿七步ノ田地ヨリ米貳石六斗八升貳合ヲ收メ  
リトイフ一反歩ノ收穫何俵何斗何升ナルカ  
タ但一俵四斗貳升入

体操科

徒手体操第二演習五節ヨリ十四節マデ



靜濱尋常小學校

修身科

(1) 事實問題 [筆答]

吾々人民が如何程珍ラシキ寶玉又ハ如何程澤山金錢ヲ所持スルモ白晝來リテ強奪スル者ナク又汝等如キ腕力薄弱ナル小兒輩ガ美服ヲ着シ何レニ往來スルモ公然來リテ暴迫スル者ナキハ何ニ依リテ然ルカ其所以ヲ記セ人ハ他ヨリ恩惠等ヲ蒙ムルキハ之ニ報ユルヲ知ラザル可ラズ吾々人民ハ何レヨリカ前述ノ如キ保護恩澤ヲ受ク故ニ之ニ報ユル覺悟ナカル可ラズ其之ニ報ユルノ

(2) 作法問題 [口答]

道平時ニ在リテハ如何又一旦緩急アル時ニ當リテハ如何  
 世間ニハ其身相應ナル才ト富トヲ備ヘテアリナガラ左  
 程人ニ重セラレザル人アリ是レ何故ナルカ  
 威儀トハ如何ナル事カ  
 威儀ヲ保ツニハ如何様ニ心掛ケテ然ルベキカ

讀書科

(1) 汝ハ電氣トイフモノヲ知ルカ汝ガ家ノ猫ヲ暗室ニテ倒  
 ニ撫デ、見ヨ弱キ光リノ發スルヲ見ルヘシ又同時ニ微  
 ナル音ヲ聞クベシ是レ電氣ノ働キナリ彼ノ夏ノ日一群  
 ノ雲空中ニ現ハレ般々タル雷遠方ニ聞ユ暫クアリテ一  
 天墨ヲ磨レルガ如ク雨ハ益ヲ覆スガ如ク忽ニシテ電光



目ヲ打チ雷聲耳ヲ貫キ甚ダ恐ロシキ有様ナルモ亦電氣ノ働キニシテ猫ヲ撫ツル時ニ見ルモノト同シキナリ此電氣ノ効用ハ甚ダ廣シ其一ニキ舉グレバ電信電燈等ノ如キナリ〔日本讀本中字句ヨリ抄出ス〕

(2) 書取

木下秀吉ハ尾張ノ人若キヨリ諸方ニ流浪シ二十三歳ノ時織田信長ニ仕ヘテ從僕トナル其面猿ニ似テ心甚活潑銳敏ナリ

作文科

(1) 鳥の智

此題ニテ左ノ談話ヲ爲シ文ニ綴ラシム  
或鳥ガ德利ノ中ノ水ヲ呑マントシタルニ喙短クシテ呑

ムトガ出來マセヌヨリテ多クノ石ヲ拾ヒテ德利ニイレシガ水ハ德利ノ口マデ出デ來マシタ鳥ハ大ヒニ喜ビ呑ミタト申マス

(2) 犁を返す文〔封筒ニ入レ應用ヲ試ム〕

算術科

- (1) 常靜濱尋常小學校ニテ二十三年七月ヨリ十二月ニ至ル半年間ニ徵收セシ授業料ハ拾參圓八拾五錢、拾參圓七拾五錢、拾四圓貳拾七錢五厘、拾參圓七拾七錢五厘、拾參圓貳拾五錢、拾貳圓六拾貳錢五厘ナリ總計若干ナルヤ〔速算〕
- (2) 靜濱村役場全巡查駐在所尋常小學校敷地合シテ四反一畝十九步アリ而シテ學校敷地ハ東西二十五間南北二十六間ナリ役場駐在所、敷地ハ幾何畝歩ナリヤ



- (3) 人間ノ呼吸ハ一分時間ニ大畧十八回ナリト云フ然ルキハ一晝夜ニ幾回呼吸スルヤ
- (4) 紙商アリ半紙二十四帖ヲ以テ讀本四冊ニ換ヘタリ而シテ半紙一帖代金ハ壹錢八厘ナリト云フ然ル時ハ讀本一冊ノ價幾何

習字科

先日御回一相成候書籍第何卷何枚目落丁ゐれあま候間御郵送下され度候〔草行交リ〕

圖畫科

- (1) 自在書 臨本ニ依ル
- (2) 工夫畫 直曲線各四條ノ結合

体操科

徒手体操第一演習一節ヨリ十節マデ  
 啞鈴体操第二演習五節ヨリ二十節マデ  
 唱歌科  
 自然友 さびしさもの一段

相川尋常小學校

修身科

(1) 事實問題

人アリ我ヲ譏誣スル等ノ場合ニ遭遇セバ如何シテ可ナルヤ

前項ニ適當ナル事實ヲ舉ゲヨ  
 右ノ事實ニ適當ナル格言ヲ舉ゲ解ヲ爲セ



(2) 作方問題

他人ノ物品ヲ借用セシ時ノ心得如何  
過テ他人ノ物品ヲ毀損セシ時ハ如何スベキヤ  
謝辭ノ述方ヲ問フ

讀書科

(1) 我國ノ大都會ハ東京西京大坂ナリ之ヲ三府ト云フ東京  
ハ武藏國ニアリテ 天皇陛下ノ住ミ給フ我國第一ノ都  
會ニシテ商賈軒ヲ連子往來織ガ如シ美シキ學校アリ大  
ナル會社銀行等アリ其他見ルモノ聞クモノ一トシテ心  
ヲ樂シマシメザルモノナシ此地元ト江戸ト唱ヘリ西京  
ハ織物ヲ以テ其名世ニ高シ明治以前永ク 天子ノ住ミ  
給ヒシ地ニシテ名所古蹟ノ多ク存スル所ナリ

大坂ハ攝津ノ國ニアリテ最モ商業ノ盛ナル地ナリ昔シ  
源義經精兵ヲ從ヘテ鵜越ヨリ逆落トシテ攻メ下リ平家  
ヲ一戰ニ攻下セシ一ノ谷ノ古戰場ハ此國ニアリ汝等成  
長ノ後此等ノ地ニ遊バ、必ス種々ノ面白キコトニ出遇  
ナルベシ [新文活用ヲ試ム]

(2) 書取

犬猫兎ソノ他ノ獸ハ冬ニ至レバオノツカラ毛ヲ増シテ  
恰モ衣服ヲ重ヌルガ如シ雪降ル頃ニハ犬ノ勢殊ニ活潑  
ニシテ犬ノ子ハ寒氣ヲ恐レズ雪ノ中ニ戯レ遊ブナリ

作文科

(1) 卒業試験及第を遠地の親戚へ報ずる文  
(2) 蠶



算術科

- (1) 四斗俵四俵アリ今之ヲ八人ノ究民ニ施與スル時ハ一人前何程 [心算]
- (2) 農夫アリ一年ニ金參百七拾八圓貳拾八錢ノ收入アリト云フ然ルトキハ一年間衣食ノ爲ニ百九拾八圓參拾五錢ヲ費シ雇人ノ費用ニ參拾五圓ヲ拂ヒ地租ニ七拾五圓八拾六錢ヲ拂フト云フ此農夫五ケ年ノ後何程ノ金ヲ餘シ得ルヤ
- (3) 或職人一週間ニ一日宛休ミ七週間働キテ金拾四圓七拾錢ノ賃ヲ得タリ一日ノ賃錢何程
- (4) 机一脚ヲ造ルニ四時四十九分四十秒ヲ要スルトセバ十二脚ヲ造ルニハ幾何ノ時間ヲ費スヤ

習字科

手製乃茶三百目御催之共進會へ出品仕候間御差加下さ  
れ候はゞ幸甚 [草書]

体操科

球竿体操十三節ヨリ二十二節マデ  
啞鈴体操第二演習一節ヨリ十節マデ

唱歌科

鏡なき一曲

修身科

吉永尋常小學校

忠臣二君ニ仕へズ貞女兩夫ニ見へズト此意義ヲ解シ且



事實ヲ舉ゲヨ

讀書科

(1) 吉永村ハ志太郡ノ南方海ニ接スルノ地ニシテ田畑能ク開ケ米麥ヲ産スルコト多ク且魚鹽ノ利アリ會社アリ商業會社ト名ツク資本金三千餘圓ニシテ土地ノ產物ヲ賣買シ或ハ金錢ノ貸付ヲモナセリ  
(新文普通讀本ノ力ニヨリテ應用ヲ試ム)

(2) 光陰ハ人ヲ俟タズ等閑ニ打過クレバ夢ノ間ニ老イ去リテ何事モ成シ得難シサレバ幼稚ノ時ヨリ少シノ隙ヲモ惜ミ勉メテモ尙ホ勉メザルベゲンヤ  
(普通讀本四編ノ上十三課ノ内)

(3) 書取  
 人民大概農業ヲ營ミ或ハ海上ニ出デ、魚類ヲ捕フル者アリ

米麥及魚類ハ此村ノ產物ナリ

作文科

(1) 砂糖

砂糖ハ色々ノ植物ヨリ製スレト我國デハ重ニ甘蔗ヨリ取リマス

砂糖ハ甘キモノデ菓子ヲ造ルニ用ヒ又食物ノ調味ニ用フ我國デハ讚岐ノ白砂糖ト薩摩ノ黑砂糖ガ尤モ名高クアリマス  
(以上三項ヲ木版ニ書シテ文章ニ構成セシム)

(2) 藤枝へ行く人ハ革囊一個讀書入門一冊之購求方を依頼する文 但代金三十拾錢を托すること

筆術科

(1) 疊六疊ヲ新調スルニ左ノ約定ニテ請負ハセタリト云フ



問フ平均一疊ニツキ何錢ノ入費ナルヤ〔心算〕

床六疊ニ付 壹圓貳拾錢

表六疊ニ付 九拾六錢

手間賃一疊ニ付 四錢

(2) 某家ニテ舟下シノ祝ヒテナシタルニ八人仲間ニテ祝儀御神酒一樽〔三斗八升入〕ヲ贈レリ此割合一人分何升ツ、ニ當ルヤ〔口唱〕

(3) 醬油屋アリ某商人ヨリ四斗入ノ大豆四十二俵ヲ買ヒ置キヌリシニ引渡シノ際ニ至リ商人ノ都合ニテ三斗五升俵ニテ請取ラント申出タリ然ルキハ何俵引取リテ可ナルヤ〔口唱〕

(4) 東京ノ國民新聞ハ一ケ年ニ三百六拾五葉ヲ發刊セリ某

アリ一個年間購讀セシニ其入費ハ新紙代一ケ年ニ參圓四拾錢ト郵税ハ每月金拾五錢ツ、而シテ外ニ雜費トシテ貳拾錢貳厘ヲ支出セリト云フ總費額一葉ニ付平均何錢ツ、ニ當ルヤ

習字科

御蔭を以て尋常小學校卒業致候間御安意下さるべく候

〔草行交リ〕

体操科

準備法、集合、右準、開列、

啞鈴体操十節ヨリ二十四節マデ

唱歌科

仰げは尊一 一段



和田尋常小學校

修身科 (1)口答(2)(3)筆答

- (1) 他人ニ信用ヲ得ンニハ如何セバ可ナルヤ  
正直ノ結果如何實例ヲ舉ゲテ之ヲ示セ  
不正直ノ結果如何例話ヲ舉ゲヨ (此答ヲ得テ次ノ問ヲ起ス)
- 然ラバ子ハ正直ヲ守ルナルベシ平生ノ注意如何
- (2) 尋常科卒業ノ後其學校及教師ニ對スルノ考如何
- (3) 高等小學若クハ他ニ學校ニ入りタルキ其心得如何

讀書科

- (1) 正行京都に進むの前死を決シ弟正時等と共に先づ行宮  
よ詣り臣此度の戰敵將乃首を得れに非ずば必ず生きて  
歸らじと奏せしハ天皇御身近々正行を召され朕汝をを

- く頼みとす深く其身を愛せよとれたまひしかば正行天  
恩に感じ涙をれみて退出せり (尋常小學讀本六第三十二課ノ内)
- (2) 和田村はもと六村より成り立ちたる一大村ありて志太  
郡の南部に位し戸數七百五十戸人口四千餘あり東南一  
帶駿河海をへだて、遠々伊豆の山を望み西北ハ靜濱大  
富の二村に連り北ハ小川村に接す區内農を以て業とし  
傍々漁業を爲せり (新文活用ヲ試ム)

(3) 書取

我國ハ氣候温和地味ゆたかにし多く米茶桑等と産し  
誠に愛すべき國柄なり  
我ガ身と立て我國に盡す事無くて徒らに一を送るが  
如き事あらば實に耻づべきよとあり



作文科

- (1) 出生届
- (2) 左記ノ文章ヲ示シテ其回答ヲ綴ラシメ併セテ封入セシム

拜啓陳は私事此度父母に許しを得て高等小學校に入學致す積りに相成候定めて貴君よも御入校に御事と被存候相替らず御厚情に預り度先は御思召玄伺ひ上げ申候

算術科

〔(1)筆算(2)珠算〕

- (1) 壹升七錢八厘ノ大豆一俵半ヲ買フキハ總代金幾何ナルヤ但シ一俵四斗四升入
- (2) 一冊二百五十六枚ト二百八十四枚ト二百六十枚トノ學齡簿アリ之ヲ二十五日間ニ寫シ終ラシニハ一日平均幾

枚ヲ寫シテ可ナルヤ

- (3) 一反三畝十八歩、三反八畝廿二歩、五畝十六歩、二反十五歩、ノ合計ヲ問フ〔速算〕
- (4) 間口十七間奥行十九間ノ屋敷地ヲ百貳拾貳圓七拾四錢ニテ買フキハ一坪ノ價平均幾何ナルヤ

習字科

尋常小學校卒業証受領仕候〔草行交リ〕

体操科

啞鈴体操第一演習一節ヨリ十九節マデ

整頓法三ヶ所

唱歌科

すめら御國



小川尋常小學校

〔明治廿三年十月試験執行〕

修身科

- (1) 菅原道真ノ人トナリチ知レリヤ、宇多醍醐ノ兩帝ニ事ヘテ殊遇ヲ受ケシハ何故カ、如何ナル災過ニ陥リシヤ、何故ニ冤罪ヲ訴ヘザリシカ、爾後ノ略歴ヲ話セ、道真ノ行爲ニ對スル所感ヲ述ベヨ
- (2) 旅ノ耻ハカキ捨ト云ヘル諺ヲ聞キシ事アリヤ如何ナル意義ヅ、知ラザル人ノ面前ニテハ耻ヲ耻トセズト云フノ義カ然ラバ寧ロ人ナキノ闇所ニ於テハ如何、禮節ハ人ノ面前ニ文ルモノカ、品行ハ誰ノ爲ニ謹ムベキモノヅ、

讀書科

- (1) 若しわれ己が馬を駄せば莫大の賞を得べとて早速馬を引き行きて地頭に駄せしに地頭をかねて乃しとぎ農夫がかゝる駄上物をなすと甚だぬぶの志と思ひしがやうやく其意を悟り多之を受納せることをいあみたり

〔尋常小學讀本七第十六課ノ内〕

- (2) 左ノ二問ニ口答セヨ  
降雨ノ理ヲ説明セヨ  
明治維新トハ何ノ謂ヅ何レノ時代ヅ
- (3) 書取

昔より夢にも見ざる空氣乃輕重ハ試験に依りて明かり平面と誰も思ひし世界の形種々乃證據ハまろきを知ら



しむ人智の進歩驚くべし  
あだに一生を送て耻ぢざる乃人ふハ瀛車郵便電信の便  
利も感せざるべし

作文科

- (1) 高等小學校へ乃入學願書
- (2) 左ニ掲クル紀事ノ誤謬ヲ正シ静岡大務新聞社へ其廣告  
方ヲ依頼スベシ

改印廣告

私從來使用シ來リ候實印紛失ト相成候ニ付序ニ改印可  
仕候間此段廣告ス

志太郡小川村

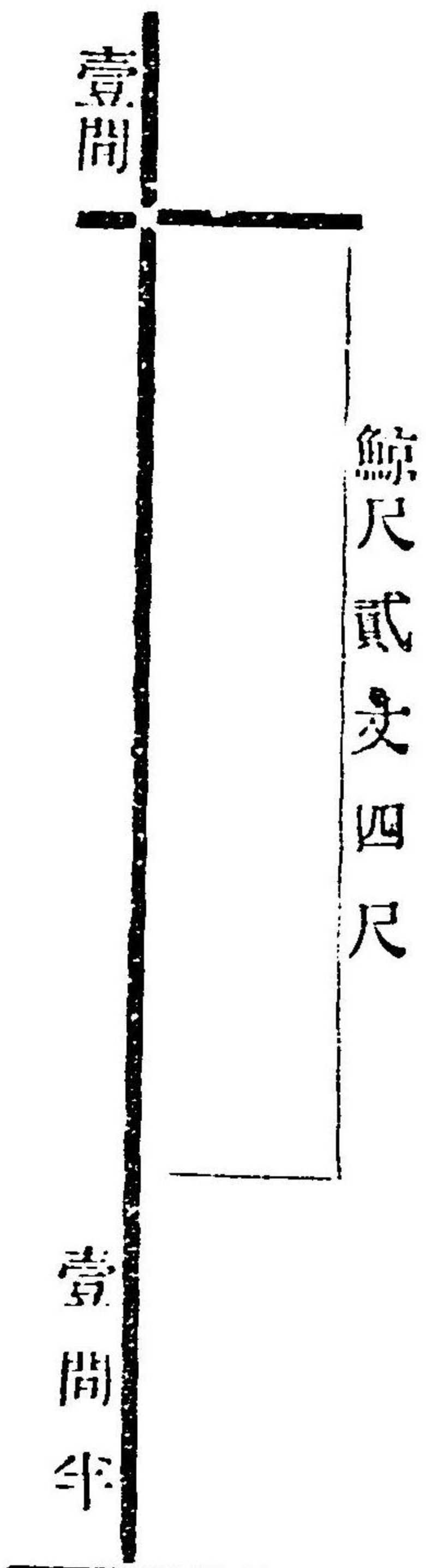
增田豊司

明治廿三年十月二十八日

算術科

〔(1)珠算(2)筆算(3)珠算(4)筆算〕

- (1) 元金參百七拾五圓ヲ年利壹割壹朱貳厘ノ約定ニテ借受  
タリ一ヶ月分ノ利金幾何カ
- (2) 壹錢ニ付五匁六分替ノ輕節一樽〔正味拾六貫八百目入〕ヲ  
買置キシニ昨今相場變動シテ八分方騰貴セリ此際悉皆  
賣拂ハハ何程ノ利ヲ得ベキヤ
- (3) 一反步貳石八斗五升ノ收穫米アル時ハ坪平均何程ニ當  
ルカ
- (4) 下圖幟棹ノ間敷ヲ問フ





習字科

永年御教示相願御蔭を以て卒業仕候〔草行交り〕

体操科

徒手体操第二演習一節ヨリ十三節マデ

哑鈴体操第一演習三十二節ヨリ四十一節マデ

唱歌科

螢の光 第一ノ歌

西益津尋常小學校

修身科

(1) 油斷大敵ト云フ諺ノ意義ヲ畧述シ併セテ其事實ヲ畧解シ之  
ヨ

(2) 己レノ欲セザル所人ニ施ス勿レトイフ格言ヲ畧解シ之  
ヲ實行セシ者ノ例證ヲ述ベヨ

讀書科

(1) かくて我が政府は大ニ政事の改革を行はれ大小の學校  
をおこして農工商乃別ちあゝ皆これに入りて種々の事  
を學び得せしむるに至りしうば人智大ニ進みたり其後  
外國の交際もまきく開け行きく彼の國の學問工藝を  
取りふれを我が國に應用しこれバ世々日々開化よおも  
むきて遂に今日に至りたお吾等が最も便利とする瀛車  
瀛船郵便電信なども多くは皆維新の頃より出來しもの  
にて昔れ人の夢よも知らざる所あるべし  
(尋常小學讀本七  
第二十八課ノ内)

(2) 尾張國愛知郡中村に豊臣秀吉出生の地なるを以て諸役



貢物等を免一年玉として大根牛房をを獻せしむ文祿の  
始め村民申合賀儀として越前綿を獻上す秀吉喜びず我  
が出生の地なるが故に永代作り取れ申付けしに早お  
りの意出て是乃如きと日けを盡す事よ國乃名産を相待  
つ處其意にそむく段不屈なるとて當年より諸役貢物を  
免れさぬことおせらる〔新文活用ヲ試〕

(3) 書取

我國は氣候温和にして地味ゆたけよ産物多し  
我等と我が國を守り君に忠を盡さむ

作文科

(1) 鷄

(2) 忘れ物を常人に届くる文

習字科

涼車にて只今出京致候〔草行交リ〕

算術科

〔(1)(2)(3)珠算(4)筆算〕

(1) 金貳百參拾七圓五拾六錢、金拾五圓八拾錢、金四百貳拾八  
圓四拾參錢、金九圓八拾五錢、金參拾四圓六拾五錢、金五拾  
圓參錢ノ總計ヲ問フ〔速算〕

(2) 百七十一万四千二百四十五個ヲ七百四十五ニ除シ商何  
程

(3) 或人余五千四百七拾五圓ノ公債証書ヲ有セリ一ケ年ノ  
利子ヲ附スレバ合計金五千七百四拾八圓七拾五錢トナ  
ル依テ平年ニ於テ一日ノ利子幾何

(4) 陶器一個ノ價金拾錢五厘ニシテ四百八十個ヲ買ヒシニ



其内損失スルコト三十個ナリ因テ全キ一個ノ價幾何

体操科

徒手体操第二演習一節ヨリ十六節マデ

東益津尋常小學校

修身科

(1) 客ノ來ル時ノ心得如何

客ト主人ト談話ヲナス時ノ心得如何

客ニ物ヲ出ス時ノ心得如何

客ノ歸ル時ノ心得如何

(2) 恩トハ如何

恩ノ大ナルハ如何

父母ニ孝行ナル者ハ君ニ忠義ナリト云フ其故如何

讀書科

(1) 世界一周ノ旅行ヲスル人近來往々アリ諸子モシ日本ヲ

發シテ東ノ方ニ進マバ遂ニハ再ビ日本ニ返ルヲ得ベシ

コレ實ニ珍シカラザル事ニテコノ地面が平カナル物ナ

ラバ真直ニ一方ニ進ミテ再ビ返ラサルベキモ地面ハ殆

ト手球ノ如ク圓キ物ナルが故ニ然ルナリ

(日本讀本六十九  
葉ノ中ヨリ抄出)

(2) 滔々タル大河渺々タル絶海綿々タル連山モ皆一滴ノ水

一塊ノ土ノ集リ積リタル者ナリ見ヨもぐトノ穴モ遂ニ

大河ノ堤ヲ破リまつちノ焰モ一市街ノ火トナル諸子決

シテ僅ノ物ヲ侮ルコト勿レ

(日本讀本中ヨリ抄出)

(1) 書取



東京京都大坂之ヲ三府トイヒ横濱神戸長崎新潟函館之ヲ五港トイフ何レモ商賈繁盛ナル地ナリ

作文科

(1) 試験及第を友人に報知すれ文

(2) 瀛車

算術科

(1) 或人六人ノ大工ヲ十六日間雇ヒ賃金ヲ拂ハント欲シ金參拾圓ヲ出セシニ參圓拾貳錢ヲ餘セリト云フ大工一人一日ノ賃錢何程ニ當ルヤ

問四十三

五十七問

(2) 上圖ノ如キ地アリ反別何程

(3) 或人清酒八斗參升ヲ金拾貳圓四拾五錢ニ仕入レ之ニ水四升ヲ混和シ壹升金拾六錢ニ賣レリ然ラハ總テ何程ノ利益アルヤ

(4) 三斗八升貳合、五斗六升八合、四斗八合、六斗九升參合、七斗九升ノ和ヲ求ム  
〔口唱速算〕

習字科

先日之代金者郵便爲換ふて御送り申上候  
〔草行交リ〕

体操科

徒手体操第二演習五節ヨリ十七節マデ

焼津尋常小學校

修身科



東京京都大坂之ヲ三府トイヒ横濱神戸長崎新潟函館之ヲ五港トイフ何レモ商賈繁盛ナル地ナリ

作文科

(1) 試験及第を友人に報知すれ文

(2) 瀛車

算術科

(1) 或人六人ノ大工ヲ十六日間雇ヒ賃金ヲ拂ハント欲シ金參拾圓ヲ出セシニ參圓拾貳錢ヲ餘セリト云フ大工一人一日ノ賃錢何程ニ當ルヤ

間四十三

五十七間

(2) 上圖ノ如キ地アリ反別何程

(3) 或人清酒八斗參升ヲ金拾貳圓四拾五錢ニ仕入レ之ニ水四升ヲ混和シ壹升金拾六錢ニ賣レリ然ラハ總テ何程ノ利益アルヤ

(4) 三斗八升貳合、五斗六升八合、四斗八合、六斗九升參合、七斗九升ノ和ヲ求ム [口唱速算]

習字科

先日之代金者郵便爲換ホテ御送り申上候 [草行交リ]

体操科

徒手体操第二演習五節ヨリ十七節マデ

焼津尋常小學校

修身科



(1) 作法

食膳程義

其處ニアル箸ヲ採リテ菓子ヲ摘ムマデノ順

序ヲナサイマセ

路傍敬禮

途中ニテ貴キ御方ニ出逢シ時ノ禮ヲナサイ

マセ

(2) 格言事實

帝室へ對スル務

日本帝室ノ尊重ナル所以ヲ話サレヨ

帝室へ對スル心懸ヲ話サレヨ

儉客ノ差別

富ヲ得ルニハ如何ナル方法ガアリマスカ

君方ノ如キ小供ニモ富ヲ得ルノ方法ガア

リマセウカ

財産相當ノ慈善トハ如何ナルコトデゴサ

イマセウカ

無闇ニ貯蓄シタル身上ハ後ニ如何様ニナ

リマスモノデスカ

讀書科

(1) 彼乃農夫と強ひて願ひしるば地頭と遂小之を受納せし

故農夫は大に喜ひて如何なる賞あれりと待ち居たるに

地頭はやがて農夫を呼出し汝は我に價貴き贈物をなし

し且れをまた價貴き返禮をなさんと彼大蕪をあさへし

りと云ふ (尋常小學讀本七第十六課ノ内)

(2) 金子借用證

一金貳拾五圓也

年利壹割三分

右之金員借用申候處實正也返金之儀ハ明治廿四年十二



月廿五日限り元利共返金可致候萬一其期に及び差支候ハ、證人にかひて引受辨金可仕候後日のため證書依テ如件

志太郡小川村小川三十番地

明治二十四年三月十四日

借主 小池 作右衛門

志太郡和田村田尻三番地

証人 山田 市兵衛

益津郡焼津村

松村 幸平 殿

右應用問答

何ノ証文ナルヤ、 誰ノ借リシ証文ナルヤ、 本人ガ返シ得ザル時ハ誰レガ代テ返スト云フ証文ナルヤ、 何日返スト云フ証文ナルヤ、 金子貸セ

シ人ヲ何ト云フヤ、 年利トハ如何ナルモノナルヤ、

(3) 書取

障子、正直、約束、早速、西洋紙、忠孝、耕作、試験  
堪忍、土産、屋敷、旅行、農工商、船頭、

作文科

(1) 出京中親戚の家に滞在せしを歸郷後直に謝する文

〔口唱設題〕

(2) 學校

算術科

(1) 猫十五疋ト鶏十二番ノ総足數若干 〔心算〕

(2) 大工アリ四十八坪ノ家屋ヲ建築シテ金六百九拾六圓ヲ得タリ三坪ニツキ所得幾何ナルヤ 〔珠算〕



(3) 一俵代金貳圓八拾錢ノ米三俵ヲ以テ一枚金五十六錢ノ胡麻糰ト代ヘンニハ幾枚ヲ請取テ可ナルヤ〔筆筭〕

(4) 參拾七圓七拾五錢七厘、四拾七圓五拾五錢壹厘、參拾六圓五拾三錢八厘、拾貳圓參拾四錢五厘、五拾參圓貳錢九厘、貳拾圓五拾壹錢四厘ノ和ヲ問フ〔速筭〕

習字科

別紙廣告文七日間御掲載相成度御依頼申上候〔草行交リ〕

体操科

整頓、正面行進、行進中右廻轉、行進中方向變換、徒手体操五節、啞鈴体操五節

尋常小學校卒業誠驗問題集終

明治廿四年九月廿九日出版

非賣品

静岡縣志太益津郡役所

編輯兼  
發行者

第一課

静岡縣平民

印刷者

大井忠三郎

静岡縣駿河國志太郡  
藤枝町市部六十九番地



(3) 一俵代金貳圓八拾錢ノ米三俵ヲ以テ一枚金五十六錢ノ胡麻糲ト代ヘンニハ幾枚ヲ請取テ可ナルヤ〔筆筭〕

(4) 參拾七圓七拾五錢七厘、四拾七圓五拾五錢壹厘、參拾六圓五拾三錢八厘、拾貳圓參拾四錢五厘、五拾參圓貳錢九厘、貳拾圓五拾壹錢四厘ノ和ヲ問フ〔速筭〕

習字科

別紙廣告文七日間御掲載相成度御依頼申上候〔草行交リ〕

体操科

整頓、正面行進、行進中右廻轉、行進中方向變換、徒手体操五節、啞鈴体操五節

尋常小學校卒業誠驗問題集終

明治廿四年九月廿九日出版

非賣品

静岡縣志太益津郡役所

編輯兼  
發行者

第一課

静岡縣平民

大井忠三郎

印刷者

静岡縣駿河國志太郡  
藤枝町市部六十九番地



